（別表第１の３）

［認知症対応型共同生活介護用］

１． 評 価 結 果 概 要 表

作成日　平成 20 年 9 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102997
法人名	医療法人　岡本医院
事業所名	グループホーム みつはま
所在地	松山市住吉2丁目2番21号　（電 話）089-953-5247
管理者	宇野 明美

評価機関名	愛媛県社会福祉協議会　利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8－15		
訪問調査日	平成 20 年 7 月 15 日	評価確定日	平成 20 年 9 月 10 日

【情報提供票より】（平成 20 年 6 月 20 日事業所記入）

（１）組織概要

開設年月日	平成 14 年 12 月 26 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	16 人
職員数	18 人	常勤 13 人, 非常勤 5 人,	常勤換算 15.6 人

（２）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	40,000 円	その他の経費(月額)	光熱・水道代10,000 円
敷金	有（ ）円	○ 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	○ 有（ 40,000 ）円 無	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食 200 円	昼食	350 円
	夕食 400 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 円		

（３）利用者の概要（平成 20 年 6 月 20 日事業所記入）

利用者人数	16 名	男性 4 名	女性 12 名
要介護１	5 名	要介護２	1 名
要介護３	4 名	要介護４	2 名
要介護５	4 名	要支援２	名
年齢	平均 85 歳	最低 61 歳	最高 95 歳

（４）他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

商店街に近い住宅地にある２階建てのホームである。利用者は散歩や買い物に出かけ、近所の知人と話したり、馴染みの場所を歩くのを楽しんでいる。管理者は認知症介護の経験が豊かである。日々のバイタルチェックを基にそれぞれの利用者の体調を確認し、健康面で心配な場合はホームのすぐ近くにある運営法人の経営する医療機関で診察を受けることができる。町内会に加入し、近隣の人たちとの関わりを大切にしている。地域の方たちが見学や相談に訪れたり、ボランティアが大正琴の演奏に訪れてくれている。幼稚園に出向いて学芸会に参加したり、祭りのみこしを一緒に作って園児との交流も楽しんでいる。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4）

ボランティアの来訪や、小･中学生の福祉体験学習の場として訪問してもらうことなどが検討課題とされたが、今後、検討していく計画である。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）

自己評価は職員の意見を集約して管理者が作成し、ミーティングで話し合い、ケアの向上に活かすよう努めている。話し合いに参加できなかった職員には「ミーティング帳」で確認してもらい、共有し合うよう努めている。全職員がミーティングに出席できる時間帯を設けるなどして、さらなる共有を図ることを期待する。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）

２か月に１回、１０名程度の出席を得て開催している。ホームから情報提供を行い、出席者からの質問、要望などを聞き取り、サービスの改善につなげている。災害対策に関しては地区の広報委員の出席を得て、地域の協力を得られるよう努めている。毎回、活発な意見交換が行われているが、地域代表者が固定化しないよう工夫することを期待する。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）

家族が来訪した際には、利用者の生活の様子や健康状態を記録した個人別連絡表を使って情報を伝えている。ホーム行事等に参加してもらった時にも、率直な意見や要望を聞き取っている。意見箱を玄関に設置し、来訪者からの声を聞き取るよう努めているが、外部の相談窓口を重要書類に明示し、家族に対しても説明することが求められる。

▼ 日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）

町内会に参加し、近隣の人たちとの関わりを大切にし、日常の散歩の際には知人と出会って会話を交わすのを楽しみにしている。地域の方たちが見学や相談に訪れ、またボランティアが大正琴の演奏に訪れてくれる。幼稚園に出向いて学芸会に参加したり、お祭りのみこしを一緒に作るなどして交流を楽しんでいる。

（別表第1の2）

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
（評価項目の構成）

Ⅰ.理念に基づく運営
1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援
1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

Ⅴ. サービスの成果に関する項目

【記入方法】
- ● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居（ユニット）ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- ● 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- ● 「取組みの事実」は必ず記入すること。

（注） 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について
●家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
（他に「家族」に限定する項目がある）
●運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。
●職　員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
●チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をＰＲ!!!

ーサービス向上への３ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

事業所名	グループホームみつはま
（ユニット名）	Aユニット
記入者（管理者） 氏　名	宇野　明美
評価完了日	平成　19　年　　月　　日

（別表第１）

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	※印（取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容（すでに取組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営					
１．理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) グループホームとは、最初から、地域の住民として共に暮す大家族と考え、今の理念の基、運営している。 (外部評価) ホームの理念に「同じ屋根の下、互いを尊重し、認め合い、助け合い、楽しく生活する」を掲げ、利用者・職員共に支えあいながら生活している。また、設立当初から地域とのつながりを大切にしており、日常的な交流に努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念は、各ユニットの共有部分及びスタッフルームに掲げ、常に意識におくようにしている。 日々のケアの振り返りにて、意識しあうようにしている。 (外部評価) ミーティング時には職員が共有し合い、日々の生活のケアに活かすよう努めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 地域の行事には、積極的に参加し、選挙の投票とか、当たり前の暮らしぶりを家族や地域の人々に理解してもらえるよう勤めている。	※	今後も地域の中に、自然に溶け込むホームでありたい。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
２．地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 入渠されている方々は、近隣の方が多く、日々の散歩の折にも、隣近所の人と、気軽に声を掛け合う関係が出来ている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の方々とは、普通に日常的に暮す事を大切にしている。それなりの交流にも努めている。	※	地域の中学校、小学校に声をかけ、ボランティアなどの募集をし、入居者の方々との、ふれあいの場を作っていきたい。
			(外部評価) 町内会に加入し、日常の散歩では地域の方と会話を交わすのを楽しみにしている。地域の方がホームの見学や相談に訪れたり、ボランティアが大正琴の演奏に訪問してくれるのを楽しみにしている。また、幼稚園の学芸会に参加したり、祭りのみこしを一緒に作るなどして、園児との交流も楽しんでいる。	※	地域の小･中学生の福祉体験学習の場としてホームを訪問してもらうなど、地域活動への参加を広げるよう、全職員で地域へ働きかけることを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 常々、地域に還元したいと考えて提案しているが、なかなか具体的な取り組みが出来ていない。	※	
３．理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を生かして具体的に改善してきているが、職員全員で取り組むには達していない。	※	職員全員には、評価項目をコピーし、各々の評価を記入してもらっている。 (今後は１年を通じて項目ごとに話し合う予定)
			(外部評価) 自己評価は職員の意見を集約して管理者が作成している。外部評価結果は運営推進会議で取り上げ、またミーティングで話し合い、ケアに反映させるよう努めている。ミーティングに参加できなかった職員には「ミーティング帳」で確認してもらって共有を図っている。	※	全職員がミーティングに参加できるよう、時間帯に配慮するなど工夫し、自己及び外部評価の意義を理解し合い、意見を十分反映させてサービスの質の向上に活かす取り組みを期待する。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	（自己評価） そのように実施している。		
			（外部評価） ２か月に１回、利用者・家族・市担当者等１０名程度の出席を得て開催しており、ホームからの情報を伝え、また活発に意見交換がなされている。	※	更に多くの地域代表者の出席を依頼し、ホームへの率直な意見や要望を聞きとり、日ごろから理解･協力体制を作り上げておくことが望まれる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	（自己評価） 様々な研修会にて、行き来する機会あり。又、必要時、相談させていただいたり、情報を提供している。		
			（外部評価） 市担当者とは機会あるごとに話し合い、相談し、情報交換を行って、具体的なケアの改善に繋げるよう努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	（自己評価） 学ぶ機会あり。必要性のある方もおられる。活用については問い合わせしたことあり。	※	職員全員が、これら制度の理解と活用について理解できるように取り組みたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	（自己評価） 虐待防止には、常に努めている。 気がついた点はお互いに話し合っている。		

自己評価	外部評価	項　目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
４．理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) その様に心得、実施している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者本位の運営に立って、物事を考えるようにしている。家族の方々にも折に触れ、その事を話し、何でも言っていただける雰囲気作りに勤めている。	※	職員それぞれに、不満、苦情を言っても大丈夫という、安心の場でありたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) １回/月は、ホーム便りにも報告している。 又、必要時の連絡、相談をしている。		
			(外部評価) 家族が来訪した際には生活の様子や健康状態を個人別報告書で伝えている。金銭管理はホームが立て替えておき、後日、領収書を添えて家族に請求している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ミーティング等の機会に利用者やご家族からの要望を話している。		
			(外部評価) 意見箱を玄関に設置し、また家族の来訪時や、ホーム行事に参加してもらった際などに、率直な意見や要望を聞き取っている。	※	家族が意見や相談を表出しやすくするためにも、外部の相談機関等の連絡先も説明文書に明記し、入居時には十分説明しておくことが望まれる。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	（自己評価） その様にしている。	※	運営者と話し合う場を今後も取り組んでいきたい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	（自己評価） 利用者の人に迷惑がかからないようにシフトを組んでいる。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	（自己評価） シフトの移動は、ミーティング等で話し合っている。運営者は、基本的に管理者に任せている。	※	運営者とゆっくり話し合う場と時間を持ちたい。
			（外部評価） 利用者との馴染みの関係を大切に、新しい職員には利用者の特徴を説明し、また馴染みの職員がフォローしてダメージを防ぐ配慮をしているが、時により、利用者の思いよりも、職員の都合に合わせることがある。	※	利用者の穏やかな生活の流れを大切にするため、全職員で十分話し合い、早急に勤務体制を調整し、利用者本位のケアの向上に繋げていくことが望まれる。
		５．人材の育成と支援			
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	（自己評価） 管理者は、機会があれば、研修を受けるようにすすめている。運営者は、内科医であり、病状観察の仕方については、学習できる環境である。	※	管理者としての悩み、考えを、運営者に伝える努力を続けたい。
			（外部評価） 運営者は、職員育成への取り組みには理解があり、県グループホーム連絡協議会の研修会や地域の同業者研修などの外部研修に積極的に参加し、研修後は報告書を作成し、ミーティング時に話し合い、ケアに活かしている。しかし、勤務体制の都合で業務に支障をきたすため、研修会への参加が難しい場合もある。	※	職員の段階に応じた研修機会が与えられるよう、全職員で十分話し合い、計画的な学びの場が確保されることを望む。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 相互訪問等の活動を通じて、お互いの悩みや相談事を話している。又、バザーへの参加などさせていただいている。	※	管理者としての考えを、運営者に伝える努力を続けたい。
			(外部評価) ２か月に１度、地区の同業者と交流を行い、また、他ホームと相互訪問して研修を行い、ネットワーク作りに努めている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 意見や不満は、その時々、管理者に言っており、管理者から運営者に伝え、検討している。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 管理者から、職員個々の勤務状況を、必要時運営者に報告している。運営者は職員個々の要望は理解しており、必要な対応は行っている。	※	勤務の評価を定期的に行いたい(管理者から運営者に報告)勤務状況の良い職員がやめるのを防ぐ為にも行いたい。この点については、現在運営者と検討中である。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 １．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) その様に努めている。初めての利用は、不安な事を十分考え、本人が困っていること、求めている事など、十分聞いた上で、利用してみて、いやであったら、いつでも退居してよい事を話している。なんでも相談に乗るので、大丈夫ですよ、と話している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) その様に努力している。		

自己評価	外部評価	項　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	（自己評価） その様に努めている。相談を受けた時、ほかのサービス利用が良いのではないかと思われた時は、ほかのサービスについても説明したり、紹介したりしている。その上で、よく考えて利用していただきたい旨、お話している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	（自己評価） その様に工夫している。ご本人に見学してもらったり、入院されている方があれば、入院先に伺い、ホームの紹介をし、又、退院後の対応については、病院側から情報を頂き、その上で、このように対応するという事を、家族の方とも相談し、安心していただいた上での利用を心がけている。 （外部評価） 管理者が入居希望者の家庭や病院に出向いて相談を受けたり、ホームを訪ねてもらって、納得いくまで説明し、ホームの生活に慣れるかどうかを確認し合った上でサービスを利用している。また、運営法人からの紹介での急な入居もまれにある。		
２．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	（自己評価） その様な関係を大切に取り組んでいる。一緒にお話をして笑ったり、一緒に散歩を楽しんだり、昔の話し、今までの生活の知恵を教えてもらったりしている。入渠の方々も、観葉植物の水遣り、廊下の掃除、料理の下ごしらえ、味見などしてくださっている。職員に「ありがとう」とか「大変ね、大丈夫？」と声を掛けてくださっている。 （外部評価） 日々の生活の中で、食事の手伝い、花の世話、掃除等を手伝ってもらい、料理を教えてもらうなど、出番を多く設けている。しかし利用者と職員がゆったりと話し合う機会が持てないことがある。	※	利用者と共にゆったりと過ごす時間が持てるよう、全職員で話し合って改善に取り組むことを期待する。
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	（自己評価） その様に考え、日々の面会時、又、それぞれの機会に、報告、連絡、相談を行っている。何でもお話できる暖かな関係で、家族の方々とは、助け合っている。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	（自己評価） その様に支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	（自己評価） 外出の時（散歩）などは、本人が喜ぶ所へ行くようにしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	（自己評価） 朝夕の挨拶や、食事時の声かけなど気をつけている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	（自己評価） 継続的な関わりを必要とする方には、そのようにしている。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント １．一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	（自己評価） なるべく本人の意向を聞き、実行している。 （外部評価） 機会あるごとに声かけをし、家族等とも話し合いを持つ中で、本人の希望を把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人との会話より、これまでの生活の様子をはかる。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 本人の１日の様子をよく観察するようにしている。必要時、話し合って、現状の把握に努めている。		
２．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画は、家族など必要な方とも相談し、承認を得るようにして作成している。 (外部評価) 「日々の記録」「24時間生活アセスメント」「評価記録」などに、本人の生活の様子や健康状態を詳細に記録し、家族にも十分相談しながら介護計画を作成している。また、必要な際には主治医とも話し合いを持っている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 体力等の衰え、精神的に不安があるなど、変化したところを話し合い、計画に反映している。 (外部評価) 利用者の生活の様子や健康状態を把握し、利用者や家族の要望をとり入れながら、介護計画の見直しを行っている。見直しの結果は本人、家族にも伝えている。６か月ごとに見直しを行っており、状況によっては随時の見直しを行っている	※	利用者は季節の変化などには対応しにくいこともあるため、少なくとも３か月に1度程度、定期的に見直しを行うことについて、検討を期待する。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日誌に記録し、日々伝達し、実践や計画の見直しに生かしている。		
３．多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 季節による行事などを活用している。家族の方々の参加もあり、楽しく行っている。又、病院受診の付き添い、入退院の際の支援など、家族と共に行っている。 (外部評価) 本人の希望や身体機能等に応じて散歩や外出の支援を行い、また、墓参り、葬儀への参列、入退院など多様な支援を臨機応変に行っている。		
４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じて、必要な機関などと協力しながら支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じて、そのように支援している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 推進会議に出席して頂き、いろいろ相談させて頂いている。	※	今後も、今以上に協働していきたい

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	（自己評価） そのようにしている。運営者もその様に支援している。本人及び家族の方々も、安心してくださっている。 （外部評価） 利用者全員が運営者を主治医としており、医療機関はホームのすぐ近くにあるため、緊急時の対応が可能である。週に１度は医師が往診に訪れ、また、状態によっては随意に受診できる。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	（自己評価） 精神科Drにかかっている方もおられ、相談し診断や治療を受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	（自己評価） 3日/W、4-5h/日にて、パートの看護士が入っており、日常の健康管理及び医療処置をしている。お互い、介護部分、看護部分を相談しながらケアにあたっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	（自己評価） 病院との連携を大切にしている入院時は、Drよりの紹介状と介護サマリーにて情報提供をしている。入院中は必要時出向き病状を尋ねている。退院時は必ず管理者が出向き、家族と共に病院より情報を頂いている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	（自己評価） 体調不安定、体調悪化については、かかりつけ医に相談し、診てもらっている。重度化した場合、主治医より説明を受け、病状確認をしている。本人や家族の方々とは、常に相談確認しあい、運営者も交え職員全員で方針を共有するよう努めている。 （外部評価） 重度化の支援が必要になった場合には、家族、主治医とも相談しながら対応している。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) そのように行っている。本人、家族の思いを大切にし、主治医と連携し、対応している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) その様に努めている。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 **１．その人らしい暮らしの支援** （１）一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人のことに関してホーム外では口外しないことは徹底している。日々のミーティングにおいて言葉掛けや対応については振り返り話し合っているが、時には、幼児扱いのような言葉を使ったり、忙しいと命令気味になってしまう場合もある。	※	一人一人の方の生きてこられた道を知り、どのように暮していきたいかを把握し、対応に取り組みたい。（自分が、その人の立場であればと考え、対応する気持ちが大切）
			(外部評価) 利用者に対しては尊敬の気持ちを持ち、その誇りを大切にしたていねいな言葉かけに努めている。個人情報の取り扱いに関しては、十分注意を払っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の意思を尊重し、支援に心がけている。	※	自己研鑽に取り組むこと。研修の仕方の工夫に取り組みたい。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	（自己評価） 日々の生活リズムを大切にするように心がけている。お部屋で過ごしたい、外へ散歩したい、眠いから横になりたい、など、１人々、自由になるべくすごすことが出来るように配慮している。		
			（外部評価） 声かけを大切にし、利用者のその日の表情や気持ちを把握し、生活機能に応じて利用者本位に支援を行っている。散歩、買い物、部屋の飾りつけなどは思い思いの希望に沿って支援している。		
（２）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている	（自己評価） 行きつけの美容院へ行かせたりしている。その人らしい服装で暮して頂いている。必要時、カットサービスも受けている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	（自己評価） 食事は毎食手作りを心がけている。ゆっくり食事ができるようにしている。お元気な方には、野菜を切ってもらったり、味付けを考えてもらったりしている。片付けもして頂いている。		
			（外部評価） 美しい食器を使い、また、食後の片付けは利用者と職員が一緒に行っている。食事介助の必要な利用者には、傍らに座り、声かけをしながら落ちついて支援にあたっている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	（自己評価） 本人の体調や健康状態に合わせた上で、本人の好き嫌いに配慮し、おやつの内容を変えたり、飲み物を変えたりしている。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	※印（取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容（すでに取組んでいることも含む）
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人々の力や排泄パターンを把握し、日々気持ちよく生活できるようにしている。主治医と相談し、薬の調整をしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 基本的に１日おきの入浴となっている。入浴時間は、一人々の希望、状態によって違うが、ゆっくりとおしゃべりしながら、入浴して頂いている。 (外部評価) 本人の希望に合わせて入浴支援を行っている。基本的には１週間に３回程度を目安とし、ゆったりとくつろいで入浴してもらっている。状態によっては清拭や足浴でも対応している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 高齢になられると、日中も横にならないとつらい方もおり、その希望があれば、希望に沿うようにしている。床につく時間も、皆大体同じであるが、夜中にテレビが見たい方、夜中まで眠れない方、朝早い方、それぞれ、なるべく自由にして頂いている。		
（３）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 掃除、水やり等、小さなことでも、自分自身でしたいことは、して頂いている。お茶やお花を習いに出かけたり、川柳相撲の投稿などされている方もいる。 (外部評価) 利用者の生活機能に応じて、食事の片付け、鉢植えの花の世話、部屋の掃除、洗濯物たたみなどの出番を設け、毎日を楽しく過ごせるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	（自己評価） 本人の希望や力がある人は、お金を所持しており、希望時、必要時、使えるようにしている。身寄りのない方のお金の保管（金庫）もしている。	※	「成年後見制度」を利用したい思いあり。数年前に相談した時には、まだ制度が充実しておらず、グループホームでは、管理者が保管を・・・と言われている。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	（自己評価） 散歩とか外出の希望があれば、その望みに沿って出かけている。 散歩はほとんど毎日の日課である。（みな、近隣の方が多く、知り合いと道端でおしゃべりなど楽しみにされている） （外部評価） 利用者の希望に合わせ、散歩に出かけて近所の方とおしゃべりを楽しんだり、花見や花火大会に出かけるなどして楽しんでいる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	（自己評価） お花見とか、動物園とかには、お弁当を持って、家族の方も一緒に出かけ、楽しい時を持っている。ぶどう狩りとか展覧会など、希望に沿って支援している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	（自己評価） 携帯電話を持っている方もおり、自由に使われている。時に使い方を忘れたりすることもあり、支援している。ホームの電話は、要望があれば、いつでも使って頂いている。手紙のやり取りをされる方も何名かおられ、支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	（自己評価） 特別に面会簿はおかず、日誌のみに面会者は記録している。 面会の方も、自由な場所で、自由な時間を過ごして頂いている。職員とも楽しく気軽におしゃべりされている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（４）安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員全員で話し合い、１人々に良い方法で対応している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) その様に取り組んでいる。 入居者の行動には、気をつけて対応している。 (外部評価) 開放的な雰囲気で生活してもらえるよう、日中は玄関に施錠していない。利用者ごとの外出傾向を把握しており、安全な生活ができるよう、一人ひとりを見守りながら支援にあたっている。玄関入口の事務所には必ず職員がおり、入居者の出入りが把握できるようにしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ふっと、外へ出てしまう方もいるので、そっと見守るようにしている。玄関付近の様子を、管理室から見えるようにしている。又、その付近には、常に職員がいるように心がけている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 裁縫道具を持っておられる方、はさみや爪切りを持っておられる方もいる。危険な状態の方には、優しく接し、納得してもらうようにしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人々の状態の把握の為、申し送りを重要視し、朝夕、３０分間の申し送りをしている。他、遅出職員への申し送り、パート職員への申し送りとを、実施している。昼食後にも必要時３０分～１時間のミーティングを実施している。	※	防災対策、救急対応については、消防署に相談している。定期的に指導、訓練を受ける予定あり。 防火管理者資格もとる予定あり。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	（自己評価） 日頃の本人の体調変化などについては、密に、主治医に連絡し、対処法も、指示を受けて対応している。	※	応急手当や初期対応の訓練は、実施予定あり。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	（自己評価） 運営推進会議にて、防災対策を話し合った。消防の方、警察の方にも出席していただいた。その後、広報委員の方が、地域の人々に、グループホームで何か起こった時には、協力を、と働きかけてくださった。ホームとしても地域で何か起こった時には協力し、避難所として使っていただいてよいこと、お話	※	夜間の災害時対応について、特に全職員で確認し合い、消防署の指導を受け訓練を続けたい。
			（外部評価） 運営推進会議では消防署の出席を得て、災害対策について話し合っている。緊急連絡網、マニュアルを作成し、年に１回、夜間を想定した避難訓練を行っている。また、管理者は地域の自主防災クラブにも参加し、地域の協力を呼びかけている。しかし、地域の協力を得た防災訓練を実施するまでには至っていない。	※	地域の方の協力を日頃からお願いし、地域と合同で防災訓練を実施するなどの備えに取り組むことが求められる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	（自己評価） いろいろな場面でのリスクについては、家族の方に説明し、話し合うようにしている。	※	管理者として、リスクマネジメントの資格を取り、勉強している。
（５）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	（自己評価） 毎日の申し送りの中で、情報を共有し、対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	（自己評価） ミーティング等の場で、説明し、毎日の様子観察にて対応している。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	（自己評価） 皆の連携で、一人々の便秘の状態を把握し、対応している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	（自己評価） 毎食後、口腔内を清潔に保てるよう、気をつけている。	※	口腔内の清潔を保つことは大切なので職員間で話し合い、支援したい。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	（自己評価） 申し送りにおいて、必要時確認し一人々にあった支援をこころがける。		
			（外部評価） 職員が栄養バランスの摂れた献立をたてている。食事時には食事量や水分摂取量を詳細に記録に残している。水分は1500ccを目安とし、献立の中に汁物などを取り入れ、水分補給には十分気をつけている。利用者によってはとろみ食、刻み食などを準備している。食事量、水分量が少なく医療的な配慮が必要になった利用者には主治医が適切に対応している。	※	カロリーの過不足にならないよう、栄養士による利用者ごとの定期的なカロリーチェック等も期待したい。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	（自己評価） 運営者が内科医であり、必要時、指導を受け対応している。日々の手洗いを重視し、ノロウイルス対策として、床の掃除では、ハイターを薄めた水で拭き掃除をし、二次感染予防に努めている。感染予防の水を用意し、使用している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	（自己評価） 毎日、夜勤者にて、台所の調理用具の消毒をしている。食材は、新鮮で安全なものの利用に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり （１）居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	（自己評価） 地域に溶け込んだ建物であり、普通の家の作りであり、親しみやすい。いつでも自由に出入りできるようにしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	（自己評価） 建物内の色合いが、自然で優しいものであり、落ち着いた空間になっている。台所用品があり、観葉植物があり、居心地よく過ごせるよう配慮している。 （外部評価） 部屋、廊下には外出の際のスナップ写真を飾り、また、要所にソファを置き、ゆったりとくつろげるような環境づくりに努めている。居間には観葉植物や季節の飾りを配して季節感を醸し出している。床暖房も設置しており、快適に過ごせる空間となっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	（自己評価） 食堂には、椅子とかソファーが置いてあり、食後、皆でくつろぐことが出来るようになっている。廊下とか居間にもいすを置いて、気軽に座れるようになっている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	（自己評価） 皆さん使い慣れたものを持ってこられている。たんすとか置物、茶器セットなど自由に持ってきていただいている。入居の際、本人さんが安心して暮せるように、持ってきていただいたほうが良いと話している。 （外部評価） どの部屋も利用者ごとに好みの物品を持ち込み、その人らしい居室となるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項　目	取組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	※印（取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容（すでに取組んでいることも含む）
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	（自己評価） 喚気に配慮している。温度調節に気をつけ窓の開け閉めを、こまめにしている。		
（２）本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	（自己評価） 個々の身体機能を知りそれを維持できるようお手伝いするようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	（自己評価） その人の対応は、職員の話し合いで決め、対応している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	（自己評価） 外回りやベランダには、花を置き、見て楽しんだり手入れをしたりして楽しんでいる。室内には廊下の安全なところに観葉植物を置き花の好きな方が水やりをしてくださっている。ベランダ、室内には、物干し台があり、職員と共に入居者の方が、洗濯物を干したり、取り入れたりする姿あり。		

（注）
1　▒▒▒▒　部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
2　全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

Ｖ．サービスの成果に関する項目			
項　　目		取　り　組　み　の　成　果 （該当する箇所を○印で囲むこと）	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	（自己評価） 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の２／３くらいの 3 利用者の１／３くらいの 4 ほとんど掴んでいない	全ての利用者の思いや願い、暮らし方の意向をくんで支援するのがグループホームのあり方であり、常々それが一番と思っている。ただ実際全て、出来ているか、というのは言えない。スタッフの価値観で見てしまう面あり。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	（自己評価） ① 毎日ある 2 数日に１回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後、いっしょに並んでイスに座り、おしゃべりをして笑いあったり、一緒にすごす時間がある。散歩に出かけ、おしゃべりもしながら、ゆっくり歩くなど、一緒に楽しむ時間を持っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	（自己評価） ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の２／３くらいが 3 利用者の１／３くらいが 4 ほとんどいない	日中、廊下を歩き運動されている方、自室で横になり休まれている方、テレビを観ておられる方、おしゃべりされている方、皆さん自由にそれぞれのペースで暮らしていただいている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	（自己評価） ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の２／３くらいが 3 利用者の１／３くらいが 4 ほとんどいない	表情が豊かな方が多いと思う。 皆さん、スタッフと冗談も言い合ったり、意見や思いを言って下さる方もおられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	（自己評価） ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の２／３くらいが 3 利用者の１／３くらいが 4 ほとんどいない	毎日の散歩に出かける事の出来る方は、楽しみにされており、近所の知り合いの方に会ったり、なじみの場所を歩くことを喜ばれている。 ただ遠出は、本人が希望されたり、体力のある方のみしか行けない状況あり。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	（自己評価） ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の２／３くらいが 3 利用者の１／３くらいが 4 ほとんどいない	日々のバイタルチェックを基に、体調を確認している。 少しでも様子が違うことがあれば、主治医に連絡し、指示を得たり診ていただいたりしている。日々の連携を大切にしている。
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	（自己評価） 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の２／３くらいが 3 利用者の１／３くらいが 4 ほとんどいない	利用者から発せられた言葉や、行動に注意して、要望を感じている。皆で話し合い、支援しているが、スタッフも人間であり、価値観を出してしまう時もみられ、十分とはいえない。努めて、支援はしており、安心して暮らしていただいていると思っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	（自己評価） ① ほぼ全ての家族と 2 家族の２／３くらいと 3 家族の１／３くらいと 4 ほとんどできていない	家族の方より、何でも相談していただけるような雰囲気作りに取り組んできた。不安なこと、求めておられることなど、管理者が（中心に）窓口となり聴いている。スタッフは普通に日常をおはなしするという形にしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	（自己評価） ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	訪ねてこられる方は多い。面会者も毎日ある。 はじめて来られた方にも、希望があれば自由に見学もしていただいている。

	項　　目	取り組みの成果（該当する箇所を○印で囲むこと）	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	（自己評価）1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	事務所の抱えている実情を話すことにより、防災面など不安な部分に協力して下さるという形が出来てきている。また、グループホームという所が、こういう支援を行っているということを、理解して下さる方も増えている。
98	職員は、活き活きと働けている	（自己評価）1 ほぼ全ての職員が ② 職員の２/３くらいが 3 職員の１/３くらいが 4 ほとんどいない	ほとんどの職員は笑顔で働いているが、利用者さんの思いを大切に、自由にと見守る中で、かなり神経を使い、動きも多いので、かなり疲れてしまう面あり。もっと楽しくゆったりと過ごす時間がとれないものかと、ほとんどのスタッフが感じている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	（自己評価）1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の２/３くらいが 3 利用者の１/３くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんの中には、かなり重度化されてきた方もおり、ご自分では、全く動けない方のケアが、どうしてもできてない部分がある。スキンシップ、手足、身体のマッサージなど、もっとしてさしあげたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	（自己評価）1 ほぼ全ての家族等が ② 家族等の２/３くらいが 3 家族等の１/３くらいが 4 ほとんどできていない	入居時に、このホームのハード面については説明し、入浴、外出については制限ができてしまう事、お話している。納得して利用いただいているが、実際そうなった時、やはりもう少し、と思われないだろうか、と考える。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
（この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）

（自己評価）
○理念に掲げているように、同じ屋根の下に住む大きな家族として、笑ったり怒ったりもしながら、スタッフと入居者の方々が普通に手と手を取り合い、寄りそって生活していく事を目標としている。
　家族の方々とも親しく、協力し合える関係で、入居されている方々の支援に当たっていきたいと考えている。
　入居されている方々の生きて来られた道、思いを大切にとらえ、このグループホームで暮らすことによって、つらい思いをされない様に、今までの暮らしぶりが続けて行けるよう支援に当たりたいとの思いが強い。（事業所として取り組んでいきたい。）
○医療との連携を密に支援している。
　日々のバイタルチェック、主治医（岡本Ｄｒ）への報告、連絡、相談、他病院への受診付きそい、入院時、退院時の支援など、入居者の方々の健康管理、対応に力を入れている。
　家族の方々の協力もあり、皆で支えあっている。

（別表第1の2）

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
（評価項目の構成）

Ⅰ.理念に基づく運営
1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援
1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

Ⅴ. サービスの成果に関する項目

【記入方法】
- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居（ユニット）ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

（注）自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について
- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。（他に「家族」に限定する項目がある）
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。
- 職　員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をＰＲ!!!

－サービス向上への３ステップ－
“愛媛県地域密着型サービス評価”

事業所名	グループホームみつはま
（ユニット名）	Bユニット
記入者（管理者） 氏　名	宇野　明美
評価完了日	平成　19　年　　月　　日

（別表第１）

自己評価及び外部評価票　　　【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営 １．理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	（自己評価） グループホームとは、最初から、地域の住民として共に暮す大家族と考え、今の理念の基、運営している。		
			（外部評価） ホームの理念に「同じ屋根の下、互いを尊重し、認め合い、助け合い、楽しく生活する」を掲げ、利用者・職員共に支えあいながら生活している。また、設立当初から地域とのつながりを大切にしており、日常的な交流に努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	（自己評価） 理念は、各ユニットの共有部分及びスタッフルームに掲げ、常に意識におくようにしている。 日々のケアの振り返りにて、意識しあうようにしている。		
			（外部評価） ミーティング時には職員が共有し合い、日々の生活のケアに活かすよう努めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	（自己評価） 地域の行事には、積極的に参加し、選挙の投票とか、当たり前の暮らしぶりを家族や地域の人々に理解してもらえるよう勤めている。	※	今後も地域の中に、自然に溶け込むホームでありたい。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
２．地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	（自己評価） 入渠されている方々は、近隣の方が多く、日々の散歩の折にも、隣近所の人と、気軽に声を掛け合う関係が出来ている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	（自己評価） 地域の方々とは、普通に日常的に暮す事を大切にしている。それなりの交流にも努めている。	※	地域の中学校、小学校に声をかけ、ボランティアなどの募集をし、入居者の方々との、ふれあいの場を作っていきたい。
			（外部評価） 町内会に加入し、日常の散歩では地域の方と会話を交わすのを楽しみにしている。地域の方がホームの見学や相談に訪れたり、ボランティアが大正琴の演奏に訪問してくれるのを楽しみにしている。また、幼稚園の学芸会に参加したり、祭りのみこしを一緒に作るなどして、園児との交流も楽しんでいる。	※	地域の小･中学生の福祉体験学習の場としてホームを訪問してもらうなど、地域活動への参加を広げるよう、全職員で地域へ働きかけることを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	（自己評価） 常々、地域に還元したいと考えて提案しているが、なかなか具体的な取り組みが出来ていない。	※	
３．理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	（自己評価） 評価を生かして具体的に改善してきているが、職員全員で取り組むには達していない。	※	職員全員には、評価項目をコピーし、各々の評価を記入してもらっている。 （今後は１年を通じて項目ごとに話し合う予定）
			（外部評価） 自己評価は職員の意見を集約して管理者が作成している。外部評価結果は運営推進会議で取り上げ、またミーティングで話し合い、ケアに反映させるよう努めている。ミーティングに参加できなかった職員には「ミーティング帳」で確認してもらって共有を図っている。	※	全職員がミーティングに参加できるよう、時間帯に配慮するなど工夫し、自己及び外部評価の意義を理解し合い、意見を十分反映させてサービスの質の向上に活かす取り組みを期待する。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 　運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	（自己評価） そのように実施している。		
			（外部評価） ２か月に１回、利用者・家族・市担当者等１０名程度の出席を得て開催しており、ホームからの情報を伝え、また活発に意見交換がなされている。	※	更に多くの地域代表者の出席を依頼し、ホームへの率直な意見や要望を聞きとり、日ごろから理解･協力体制を作り上げておくことが望まれる。
9	6	○市町村との連携 　事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	（自己評価） 様々な研修会にて、行き来する機会あり。又、必要時、相談させていただいたり、情報を提供している。		
			（外部評価） 市担当者とは機会あるごとに話し合い、相談し、情報交換を行って、具体的なケアの改善に繋げるよう努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 　管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	（自己評価） 学ぶ機会あり。必要性のある方もおられる。活用については問い合わせしたことあり。	※	職員全員が、これら制度の理解と活用について理解できるように取り組みたい。
11		○虐待の防止の徹底 　管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	（自己評価） 虐待防止には、常に努めている。 気がついた点はお互いに話し合っている。		

自己評価	外部評価	項　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
４．理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	（自己評価） その様に心得、実施している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	（自己評価） 利用者本位の運営に立って、物事を考えるようにしている。家族の方々にも折に触れ、その事を話し、何でも言っていただける雰囲気作りに勤めている。	※	職員それぞれに、不満、苦情を言っても大丈夫という、安心の場でありたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	（自己評価） １回/月は、ホーム便りにも報告している。 又、必要時の連絡、相談をしている。		
			（外部評価） 家族が来訪した際には生活の様子や健康状態を個人別報告書で伝えている。金銭管理はホームが立て替えておき、後日、領収書を添えて家族に請求している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	（自己評価） ミーティング等の機会に利用者やご家族からの要望を話している。		
			（外部評価） 意見箱を玄関に設置し、また家族の来訪時や、ホーム行事に参加してもらった際などに、率直な意見や要望を聞き取っている。	※	家族が意見や相談を表出しやすくするためにも、外部の相談機関等の連絡先も説明文書に明記し、入居時には十分説明しておくことが望まれる。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	（自己評価） その様にしている。	※	運営者と話し合う場を今後も取り組んでいきたい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	（自己評価） 利用者の人に迷惑がかからないようにシフトを組んでいる。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	（自己評価） シフトの移動は、ミーティング等で話し合っている。運営者は、基本的に管理者に任せている。	※	運営者とゆっくり話し合う場と時間を持ちたい。
			（外部評価） 利用者との馴染みの関係を大切に、新しい職員には利用者の特徴を説明し、また馴染みの職員がフォローしてダメージを防ぐ配慮をしているが、時により、利用者の思いよりも、職員の都合に合わせることがある。	※	利用者の穏やかな生活の流れを大切にするため、全職員で十分話し合い、早急に勤務体制を調整し、利用者本位のケアの向上に繋げていくことが望まれる。
5．人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	（自己評価） 管理者は、機会があれば、研修を受けるようにすすめている。運営者は、内科医であり、病状観察の仕方については、学習できる環境である。	※	管理者としての悩み、考えを、運営者に伝える努力を続けたい。
			（外部評価） 運営者は、職員育成への取り組みには理解があり、県グループホーム連絡協議会の研修会や地域の同業者研修などの外部研修に積極的に参加し、研修後は報告書を作成し、ミーティング時に話し合い、ケアに活かしている。しかし、勤務体制の都合で業務に支障をきたすため、研修会への参加が難しい場合もある。	※	職員の段階に応じた研修機会が与えられるよう、全職員で十分話し合い、計画的な学びの場が確保されることを望む。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	（自己評価） 相互訪問等の活動を通じて、お互いの悩みや相談事を話している。又、バザーへの参加などさせていただいている。 （外部評価） ２か月に１度、地区の同業者と交流を行い、また、他ホームと相互訪問して研修を行い、ネットワーク作りに努めている。	※	管理者としての考えを、運営者に伝える努力を続けたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	（自己評価） 意見や不満は、その時々、管理者に言っており、管理者から運営者に伝え、検討している。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	（自己評価） 管理者から、職員個々の勤務状況を、必要時運営者に報告している。運営者は職員個々の要望は理解しており、必要な対応は行っている。	※	勤務の評価を定期的に行いたい(管理者から運営者に報告)勤務状況の良い職員がやめるのを防ぐ為にも行いたい。この点については、現在運営者と検討中である。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 １．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	（自己評価） その様に努めている。初めての利用は、不安な事を十分考え、本人が困っていること、求めている事など、十分聞いた上で、利用してみて、いやであったら、いつでも退居してよい事を話している。なんでも相談に乗るので、大丈夫ですよ、と話している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	（自己評価） その様に努力している。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	（自己評価） その様に努めている。相談を受けた時、ほかのサービス利用が良いのではないかと思われた時は、ほかのサービスについても説明したり、紹介したりしている。その上で、よく考えて利用していただきたい旨、お話している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	（自己評価） その様に工夫している。ご本人に見学してもらったり、入院されている方があれば、入院先に伺い、ホームの紹介をし、又、退院後の対応については、病院側から情報を頂き、その上で、このように対応するという事を、家族の方とも相談し、安心していただいた上での利用を心がけている。 （外部評価） 管理者が入居希望者の家庭や病院に出向いて相談を受けたり、ホームを訪ねてもらって、納得いくまで説明し、ホームの生活に慣れるかどうかを確認し合った上でサービスを利用している。また、運営法人からの紹介での急な入居もまれにある。		
２．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	（自己評価） その様な関係を大切に取り組んでいる。一緒にお話をして笑ったり、一緒に散歩を楽しんだり、昔の話し、今までの生活の知恵を教えてもらったりしている。入渠の方々も、観葉植物の水遣り、廊下の掃除、料理の下ごしらえ、味見などしてくださっている。職員に「ありがとう」とか「大変ね、大丈夫？」と声を掛けてくださっている。 （外部評価） 日々の生活の中で、食事の手伝い、花の世話、掃除等を手伝ってもらい、料理を教えてもらうなど、出番を多く設けている。しかし利用者と職員がゆったりと話し合う機会が持てないことがある。	※	利用者と共にゆったりと過ごす時間が持てるよう、全職員で話し合って改善に取り組むことを期待する。
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	（自己評価） その様に考え、日々の面会時、又、それぞれの機会に、報告、連絡、相談を行っている。何でもお話できる暖かな関係で、家族の方々とは、助け合っている。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	※印（取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容（すでに取組んでいることも含む）
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) その様に支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 外出の時(散歩)などは、本人が喜ぶ所へ行くようにしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 朝夕の挨拶や、食事時の声かけなど気をつけている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 継続的な関わりを必要とする方には、そのようにしている。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント **１．一人ひとりの把握**					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) なるべく本人の意向を聞き、実行している。 (外部評価) 機会あるごとに声かけをし、家族等とも話し合いを持つ中で、本人の希望を把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	（自己評価） 本人との会話より、これまでの生活の様子をはかる。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	（自己評価） 本人の１日の様子をよく観察するようにしている。必要時、話し合って、現状の把握に努めている。		
２．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	（自己評価） 介護計画は、家族など必要な方とも相談し、承認を得るようにして作成している。		
			（外部評価） 「日々の記録」「24時間生活アセスメント」「評価記録」などに、本人の生活の様子や健康状態を詳細に記録し、家族にも十分相談しながら介護計画を作成している。また、必要な際には主治医とも話し合いを持っている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	（自己評価） 体力等の衰え、精神的に不安があるなど、変化したところを話し合い、計画に反映している。		
			（外部評価） 利用者の生活の様子や健康状態を把握し、利用者や家族の要望をとり入れながら、介護計画の見直しを行っている。見直しの結果は本人、家族にも伝えている。６か月ごとに見直しを行っており、状況によっては随時の見直しを行っている	※	利用者は季節の変化などには対応しにくいこともあるため、少なくとも３か月に1度程度、定期的に見直しを行うことについて、検討を期待する。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	（自己評価） 日誌に記録し、日々伝達し、実践や計画の見直しに生かしている。		
３．多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	（自己評価） 季節による行事などを活用している。家族の方々の参加もあり、楽しく行っている。又、病院受診の付き添い、入退院の際の支援など、家族と共に行っている。 （外部評価） 本人の希望や身体機能等に応じて散歩や外出の支援を行い、また、墓参り、葬儀への参列、入退院など多様な支援を臨機応変に行っている。		
４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	（自己評価） 本人の意向や必要性に応じて、必要な機関などと協力しながら支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	（自己評価） 本人の意向や必要性に応じて、そのように支援している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	（自己評価） 推進会議に出席して頂き、いろいろ相談させて頂いている。	※	今後も、今以上に協働していきたい

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	（自己評価） そのようにしている。運営者もその様に支援している。本人及び家族の方々も、安心してくださっている。 （外部評価） 利用者全員が運営者を主治医としており、医療機関はホームのすぐ近くにあるため、緊急時の対応が可能である。週に１度は医師が往診に訪れ、また、状態によっては随意に受診できる。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	（自己評価） 精神科Drにかかっている方もおられ、相談し診断や治療を受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	（自己評価） 3日/W、4-5h/日にて、パートの看護士が入っており、日常の健康管理及び医療処置をしている。お互い、介護部分、看護部分を相談しながらケアにあたっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	（自己評価） 病院との連携を大切にしている入院時は、Drよりの紹介状と介護サマリーにて情報提供をしている。入院中は必要時出向き病状を尋ねている。退院時は必ず管理者が出向き、家族と共に病院より情報を頂いている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	（自己評価） 体調不安定、体調悪化については、かかりつけ医に相談し、診てもらっている。重度化した場合、主治医より説明を受け、病状確認をしている。本人や家族の方々とは、常に相談確認しあい、運営者も交え職員全員で方針を共有するよう努めている。 （外部評価） 重度化の支援が必要になった場合には、家族、主治医とも相談しながら対応している。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) そのように行っている。本人、家族の思いを大切にし、主治医と連携し、対応している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) その様に努めている。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 **1．その人らしい暮らしの支援** （1）一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人のことに関してホーム外では口外しないことは徹底している。日々のミーティングにおいて言葉掛けや対応については振り返り話し合っているが、時には、幼児扱いのような言葉を使ったり、忙しいと命令気味になってしまう場合もある。	※	一人一人の方の生きてこられた道を知り、どのように暮していきたいかを把握し、対応に取り組みたい。(自分が、その人の立場であればと考え、対応する気持ちが大切)
			(外部評価) 利用者に対しては尊敬の気持ちを持ち、その誇りを大切にしたていねいな言葉かけに努めている。個人情報の取り扱いに関しては、十分注意を払っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の意思を尊重し、支援に心がけている。	※	自己研鑽に取り組むこと。研修の仕方の工夫に取り組みたい。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	（自己評価） 日々の生活リズムを大切にするように心がけている。お部屋で過ごしたい、外へ散歩したい、眠いから横になりたい、など、１人々、自由になるべくすごすことが出来るように配慮している。 （外部評価） 声かけを大切にし、利用者のその日の表情や気持ちを把握し、生活機能に応じて利用者本位に支援を行っている。散歩、買い物、部屋の飾りつけなどは思い思いの希望に沿って支援している。		
（２）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている	（自己評価） 行きつけの美容院へ行かせたりしている。その人らしい服装で暮して頂いている。必要時、カットサービスも受けている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	（自己評価） 食事は毎食手作りを心がけている。ゆっくり食事ができるようにしている。お元気な方には、野菜を切ってもらったり、味付けを考えてもらったりしている。片付けもして頂いている。 （外部評価） 美しい食器を使い、また、食後の片付けは利用者と職員が一緒に行っている。食事介助の必要な利用者には、傍らに座り、声かけをしながら落ちついて支援にあたっている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	（自己評価） 本人の体調や健康状態に合わせた上で、本人の好き嫌いに配慮し、おやつの内容を変えたり、飲み物を変えたりしている。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	（自己評価） 一人々の力や排泄パターンを把握し、日々気持ちよく生活できるようにしている。主治医と相談し、薬の調整をしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	（自己評価） 基本的に１日おきの入浴となっている。入浴時間は、一人々の希望、状態によって違うが、ゆっくりとおしゃべりしながら、入浴して頂いている。 （外部評価） 本人の希望に合わせて入浴支援を行っている。基本的には１週間に３回程度を目安とし、ゆったりとくつろいで入浴してもらっている。状態によっては清拭や足浴でも対応している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	（自己評価） 高齢になられると、日中も横にならないとつらい方もおり、その希望があれば、希望に沿うようにしている。床につく時間も、皆大体同じであるが、夜中にテレビが見たい方、夜中まで眠れない方、朝早い方、それぞれ、なるべく自由にして頂いている。		
（３）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	（自己評価） 掃除、水やり等、小さなことでも、自分自身でしたいことは、して頂いている。お茶やお花を習いに出かけたり、川柳相撲の投稿などされている方もいる。 （外部評価） 利用者の生活機能に応じて、食事の片付け、鉢植えの花の世話、部屋の掃除、洗濯物たたみなどの出番を設け、毎日を楽しく過ごせるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	（自己評価） 本人の希望や力がある人は、お金を所持しており、希望時、必要時、使えるようにしている。身寄りのない方のお金の保管（金庫）もしている。	※	「成年後見制度」を利用したい思いあり。数年前に相談した時には、まだ制度が充実しておらず、グループホームでは、管理者が保管を・・・と言われている。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	（自己評価） 散歩とか外出の希望があれば、その望みに沿って出かけている。 散歩はほとんど毎日の日課である。（みな、近隣の方が多く、知り合いと道端でおしゃべりなど楽しみにされている） （外部評価） 利用者の希望に合わせ、散歩に出かけて近所の方とおしゃべりを楽しんだり、花見や花火大会に出かけるなどして楽しんでいる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	（自己評価） お花見とか、動物園とかには、お弁当を持って、家族の方も一緒に出かけ、楽しい時を持っている。ぶどう狩りとか展覧会など、希望に沿って支援している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	（自己評価） 携帯電話を持っている方もおり、自由に使われている。時に使い方を忘れたりすることもあり、支援している。ホームの電話は、要望があれば、いつでも使って頂いている。手紙のやり取りをされる方も何名かおられ、支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	（自己評価） 特別に面会簿はおかず、日誌のみに面会者は記録している。 面会の方も、自由な場所で、自由な時間を過ごして頂いている。職員とも楽しく気軽におしゃべりされている。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（４）安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員全員で話し合い、１人々に良い方法で対応している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) その様に取り組んでいる。 入居者の行動には、気をつけて対応している。 (外部評価) 開放的な雰囲気で生活してもらえるよう、日中は玄関に施錠していない。利用者ごとの外出傾向を把握しており、安全な生活ができるよう、一人ひとりを見守りながら支援にあたっている。玄関入口の事務所には必ず職員がおり、入居者の出入りが把握できるようにしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ふっと、外へ出てしまう方もいるので、そっと見守るようにしている。玄関付近の様子を、管理室から見えるようにしている。又、その付近には、常に職員がいるように心がけている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 裁縫道具を持っておられる方、はさみや爪切りを持っておられる方もいる。危険な状態の方には、優しく接し、納得してもらうようにしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人々の状態の把握の為、申し送りを重要視し、朝夕、３０分間の申し送りをしている。他、遅出職員への申し送り、パート職員への申し送りとを、実施している。昼食後にも必要時３０分～１時間のミーティングを実施している。	※	防災対策、救急対応については、消防署に相談している。定期的に指導、訓練を受ける予定あり。 防火管理者資格もとる予定あり。

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 日頃の本人の体調変化などについては、密に、主治医に連絡し、対処法も、指示を受けて対応している。	※	応急手当や初期対応の訓練は、実施予定あり。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議にて、防災対策を話し合った。消防の方、警察の方にも出席していただいた。その後、広報委員の方が、地域の人々に、グループホームで何か起こった時には、協力を、と働きかけてくださった。ホームとしても地域で何か起こった時には協力し、避難所として使っていただいてよいこと、お話	※	夜間の災害時対応について、特に全職員で確認し合い、消防署の指導を受け訓練を続けたい。
			(外部評価) 運営推進会議では消防署の出席を得て、災害対策について話し合っている。緊急連絡網、マニュアルを作成し、年に１回、夜間を想定した避難訓練を行っている。また、管理者は地域の自主防災クラブにも参加し、地域の協力を呼びかけている。しかし、地域の協力を得た防災訓練を実施するまでには至っていない。	※	地域の方の協力を日頃からお願いし、地域と合同で防災訓練を実施するなどの備えに取り組むことが求められる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) いろいろな場面でのリスクについては、家族の方に説明し、話し合うようにしている。	※	管理者として、リスクマネジメントの資格を取り、勉強している。
（５）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日の申し送りの中で、情報を共有し、対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ミーティング等の場で、説明し、毎日の様子観察にて対応している。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	（自己評価） 皆の連携で、一人々の便秘の状態を把握し、対応している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	（自己評価） 毎食後、口腔内を清潔に保てるよう、気をつけている。	※	口腔内の清潔を保つことは大切なので職員間で話し合い、支援したい。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	（自己評価） 申し送りにおいて、必要時確認し一人々にあった支援をこころがける。		
			（外部評価） 職員が栄養バランスの摂れた献立をたてている。食事時には食事量や水分摂取量を詳細に記録に残している。水分は1500ccを目安とし、献立の中に汁物などを取り入れ、水分補給には十分気をつけている。利用者によってはとろみ食、刻み食などを準備している。食事量、水分量が少なく医療的な配慮が必要になった利用者には主治医が適切に対応している。	※	カロリーの過不足にならないよう、栄養士による利用者ごとの定期的なカロリーチェック等も期待したい。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	（自己評価） 運営者が内科医であり、必要時、指導を受け対応している。日々の手洗いを重視し、ノロウイルス対策として、床の掃除では、ハイターを薄めた水で拭き掃除をし、二次感染予防に努めている。感染予防の水を用意し、使用している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	（自己評価） 毎日、夜勤者にて、台所の調理用具の消毒をしている。食材は、新鮮で安全なものの利用に努めている。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり （１）居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	（自己評価） 地域に溶け込んだ建物であり、普通の家の作りであり、親しみやすい。いつでも自由に出入りできるようにしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	（自己評価） 建物内の色合いが、自然で優しいものであり、落ち着いた空間になっている。台所用品があり、観葉植物があり、居心地よく過ごせるよう配慮している。 （外部評価） 部屋、廊下には外出の際のスナップ写真を飾り、また、要所にソファを置き、ゆったりとくつろげるような環境づくりに努めている。居間には観葉植物や季節の飾りを配して季節感を醸し出している。床暖房も設置しており、快適に過ごせる空間となっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	（自己評価） 食堂には、椅子とかソファーが置いてあり、食後、皆でくつろぐことが出来るようになっている。廊下とか居間にもいすを置いて、気軽に座れるようになっている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	（自己評価） 皆さん使い慣れたものを持ってこられている。たんすとか置物、茶器セットなど自由に持ってきていただいている。入居の際、本人さんが安心して暮せるように、持ってきていただいたほうが良いと話している。 （外部評価） どの部屋も利用者ごとに好みの物品を持ち込み、その人らしい居室となるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 （取組みたい又は取組みを期待したい項目）	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 喚気に配慮している。温度調節に気をつけ窓の開け閉めを、こまめにしている。		
（２）本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 個々の身体機能を知りそれを維持できるようお手伝いするようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) その人の対応は、職員の話し合いで決め、対応している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 外回りやベランダには、花を置き、見て楽しんだり手入れをしたりして楽しんでいる。室内には廊下の安全なところに観葉植物を置き花の好きな方が水やりをしてくださっている。ベランダ、室内には、物干し台があり、職員と共に入居者の方が、洗濯物を干したり、取り入れたりする姿あり。		

（注）
1　［網掛け］　部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
2　全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目

	項　　目	取　り　組　み　の　成　果 （該当する箇所を○印で囲むこと）	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	（自己評価） 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の２/３くらいの 3 利用者の１/３くらいの 4 ほとんど掴んでいない	全ての利用者の思いや願い、暮らし方の意向をくんで支援するのがグループホームのあり方であり、常々それが一番と思っている。ただ実際全て、出来ているか、というのは言えない。スタッフの価値観で見てしまう面あり。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	（自己評価） ① 毎日ある 2 数日に１回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後、いっしょに並んでイスに座り、おしゃべりをして笑いあったり、一緒にすごす時間がある。散歩に出かけ、おしゃべりもしながら、ゆっくり歩くなど、一緒に楽しむ時間を持っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	（自己評価） ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の２/３くらいが 3 利用者の１/３くらいが 4 ほとんどいない	日中、廊下を歩き運動されている方、自室で横になり休まれている方、テレビを観ておられる方、おしゃべりされている方、皆さん自由にそれぞれのペースで暮らしていただいている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	（自己評価） ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の２/３くらいが 3 利用者の１/３くらいが 4 ほとんどいない	表情が豊かな方が多いと思う。 皆さん、スタッフと冗談も言い合ったり、意見や思いを言って下さる方もおられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	（自己評価） ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の２/３くらいが 3 利用者の１/３くらいが 4 ほとんどいない	毎日の散歩に出かける事の出来る方は、楽しみにされており、近所の知り合いの方に会ったり、なじみの場所を歩くことを喜ばれている。 ただ遠出は、本人が希望されたり、体力のある方のみしか行けない状況あり。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	（自己評価） ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の２/３くらいが 3 利用者の１/３くらいが 4 ほとんどいない	日々のバイタルチェックを基に、体調を確認している。 少しでも様子が違うことがあれば、主治医に連絡し、指示を得たり診ていただいたりしている。日々の連携を大切にしている。
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	（自己評価） 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の２/３くらいが 3 利用者の１/３くらいが 4 ほとんどいない	利用者から発せられた言葉や、行動に注意して、要望を感じている。皆で話し合い、支援しているが、スタッフも人間であり、価値観を出してしまう時もみられ、十分とはいえない。努めて、支援はしており、安心して暮らしていただいていると思っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	（自己評価） ① ほぼ全ての家族と 2 家族の２/３くらいと 3 家族の１/３くらいと 4 ほとんどできていない	家族の方より、何でも相談していただけるような雰囲気作りに取り組んできた。不安なこと、求めておられることなど、管理者が（中心に）窓口となり聴いている。スタッフは普通に日常をおはなしするという形にしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	（自己評価） ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	訪ねてこられる方は多い。面会者も毎日ある。 はじめて来られた方にも、希望があれば自由に見学もしていただいている。

	項　　目	取り組みの成果 （該当する箇所を○印で囲むこと）	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	（自己評価） 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	事務所の抱えている実情を話すことにより、防災面など不安な部分に協力して下さるという形が出来てきている。また、グループホームという所が、こういう支援を行っているということを、理解して下さる方も増えている。
98	職員は、活き活きと働けている	（自己評価） 1 ほぼ全ての職員が ② 職員の２/３くらいが 3 職員の１/３くらいが 4 ほとんどいない	ほとんどの職員は笑顔で働いているが、利用者さんの思いを大切に、自由にと見守る中で、かなり神経を使い、動きも多いので、かなり疲れてしまう面あり。もっと楽しくゆったりと過ごす時間がとれないものかと、ほとんどのスタッフが感じている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	（自己評価） 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の２/３くらいが 3 利用者の１/３くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんの中には、かなり重度化されてきた方もおり、ご自分では、全く動けない方のケアが、どうしてもできてない部分がある。スキンシップ、手足、身体のマッサージなど、もっとしてさしあげたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	（自己評価） 1 ほぼ全ての家族等が ② 家族等の２/３くらいが 3 家族等の１/３くらいが 4 ほとんどできていない	入居時に、このホームのハード面については説明し、入浴、外出については制限ができてしまう事、お話している。納得して利用いただいているが、実際そうなった時、やはりもう少し、と思われないだろうか、と考える。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
（この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）

（自己評価）
○理念に掲げているように、同じ屋根の下に住む大きな家族として、笑ったり怒ったりもしながら、スタッフと入居者の方々が普通に手と手を取り合い、寄りそって生活していく事を目標としている。
　家族の方々とも親しく、協力し合える関係で、入居されている方々の支援に当たっていきたいと考えている。
　入居されている方々の生きて来られた道、思いを大切にとらえ、このグループホームで暮らすことによって、つらい思いをされない様に、今までの暮らしぶりが続けて行けるよう支援に当たりたいとの思いが強い。（事業所として取り組んでいきたい。）
○医療との連携を密に支援している。
　日々のバイタルチェック、主治医（岡本Ｄｒ）への報告、連絡、相談、他病院への受診付きそい、入院時、退院時の支援など、入居者の方々の健康管理、対応に力を入れている。
　家族の方々の協力もあり、皆で支えあっている。